

**製品名: Hrs (リン酸化 Tyr334) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab04795**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	86kDa

**抗原情報**

遺伝子名	HGS
別名	HGS; HRS; Hepatocyte growth factor-regulated tyrosine kinase substrate; Hrs; Protein pp110
遺伝子 ID	9146.0
SwissProt ID	O14964
免疫原	抗血清は、ヒト HRS 由来の Tyr334 のリン酸化部位周辺の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 301-350

**背景**

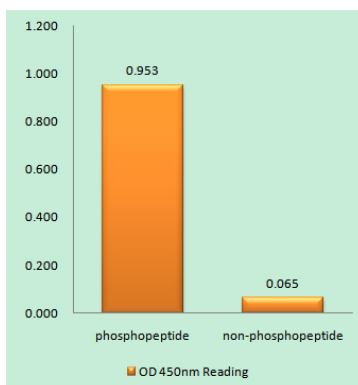
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、エンドソームの選別を制御し、膜受容体の再利用と分解において重要な役割を果た

します。コードされるタンパク質は、モノユビキチン化された膜タンパク質を多小胞体へと選別し、これらのタンパク質をリソソーム依存性分解の標的とします。[RefSeq 提供、2010年12月],ドメイン: ヘリックスの両側に1つずつ、計2つのユビキチン分子を結合できる両面 UIM を有します。機能: サイトカインおよび増殖因子を介した細胞内シグナル伝達に関与します。STAM と結合すると、IL-2 および GM-CSF 刺激による DNA シグナル伝達を抑制します。早期エンドソームを介した小胞経路において PI3 キナーゼの直接的なエフェクターとなる可能性があり、クラスリンをリクルートすることで早期エンドソームおよび後期エンドソームへの輸送を制御している可能性があります。クラスリン被覆領域内にユビキチン化された受容体を集中させる可能性があります。STAM (ESCRT-0 複合体) と複合形成すると、多小胞体 (MVB) を介して受容体チロシンキナーゼのダウンレギュレーションに関与する。ESCRT-0 複合体はユビキチンに結合し、ユビキチン化された受容体を認識してリソソーム内の次段階の選別 / 輸送プロセスへと輸送する選別機構として機能する。アクチビン受容体複合体への SMAD の効率的なリクルートメントに寄与する可能性がある。PTM: Tyr-334 がリン酸化されている。Tyr-329 に軽微なリン酸化部位が検出される (類似性による)。リン酸化は、EGF、IL-2、GM-CSF、および HGF に応答して発生します。類似性:1つの FYVE 型ジンクフィンガーを含みます。類似性:1つの UIM(ユビキチン相互作用モチーフ)リピートを含みます。類似性:1つの VHS ドメインを含みます。サブユニット:STAM または STAM2 と HGS で構成される ESCRT-0 複合体の構成要素。少なくとも HSG、STAM2(またはおそらく STAM)および EPS15 で構成される複合体の一部です。STAM と相互作用します。STAM2 と相互作用します。EPS15 と相互作用します。相互作用は直接的であり、カルシウム依存性で、SNAP25 によって阻害されます。NF2 と相互作用します。相互作用は直接的です。ユビキチンと相互作用します。相互作用は直接的です。VPS37C と相互作用します。SMAD1、SMAD2、および SMAD3 と相互作用します。TSG101 と相互作用します。この相互作用は ESCRT-I 複合体との会合を媒介する。SNAP25 と相互作用する。相互作用は直接的であり、遊離カルシウム濃度の増加に伴い減少する。SNX1 と相互作用する。相互作用は直接的である。少なくとも HGS と SNX1 から構成されるが EGFR は含まない 550kDa の膜複合体の構成要素である。組織特異性: 成体および胎児組織に普遍的に発現し、精巣および末梢血白血球で高い発現を示す。

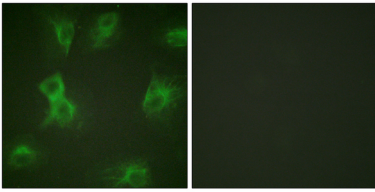
## 研究分野

エンドサイトーシス;

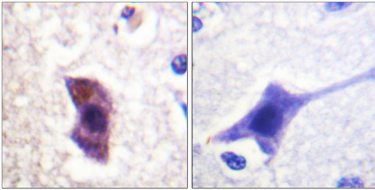
## 画像データ



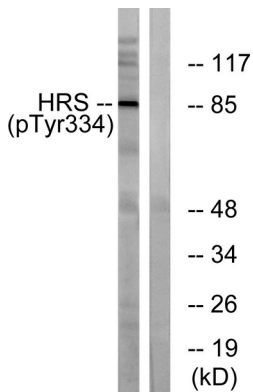
HRS (リン酸化 Tyr334) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



フォルスコリン 40nM 15%で処理した HeLa 細胞を、HRS (リン酸化 Tyr334) 抗体を用いて免疫蛍光染色で解析した。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした。



HRS (リン酸化 Tyr334) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



PMA 125 ng/ml 30分処理した HepG2 細胞ライセートの HRS (リン酸化 Tyr334) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。